ポーチ用手すり 施工説明書
取扱説明書

このたびはポーチ用手すりをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。

もくじ

ARONKASEI CO.,LTD.

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

してはいけない「禁止」内容を説明しています。

警告

一般住宅に取り付ける歩行補助手すり以外では使用しないこと
重大事故につながる恐れがあります。

転倒防止用ガードレールや防護柵、ベランダの柵、窓格子などや断崖地、転落の恐れのある場所などで使用しないこと
重大事故につながる恐れがあります。

注意

取り付けは必ず取付工事店が行なうこと
取り付けが不安定となり、けがや重大事故につながる恐れがあります。

必ず同梱の固定金具を使うこと
取り付けが不安定となり、けがや重大事故につながる恐れがあります。

必ず強度を確保できる地面に取り付けること
手すりが外れたり、壁が壊れたりしてけがをする恐れがあります。

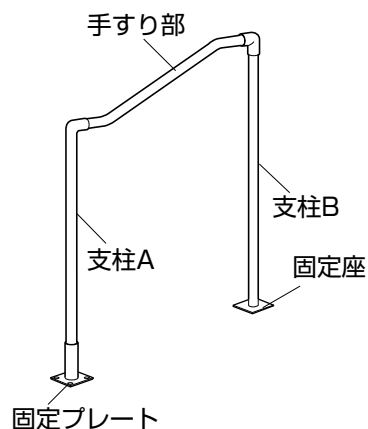
製品の取り付け後に、ぐらつきやガタツキがなく確実に固定されているか確認すること
手すりが外れたりしてけがをする恐れがあります。

アンカーボルトを取り付ける穴の周囲に必ずシーリング剤を塗布すること
手すりが外れたり、取り付け面が壊れたりして、けがをする恐れがあります。

ガス・水道メーター及びガス管、水道管の位置を確認して施工すること
施工に支障のある場合は、手すりの位置をずらすか、ガス、水道メーター及びガス管・水道管の移設を行なってください。

商品に強い応力が加わった状態で無理に取り付けないこと
手すりが折れたり、外れたりしてけがをする恐れがあります。

埋め込み設置の場合は､養生期間を十分にとり、期間中は重いものをのせたり、手すりをゆすったりしないこと
手すりが外れたり、取り付け面が壊れたりして、けがをする恐れがあります。

各部のなまえ

必要工具

電動ドライバー	水準器	メタルソー・チップソー切断機	コンクリートドリル
手すりを固定する場合に使用します。		※φ34の支柱がカットできる機械を使用してください。(ステンレス用の刃を使用してください) 支柱の切断に使用します。	
ホルソー	**ドリル**	**ダストポンプ・ブラシ**	**スパナ・モンキーレンチ**
埋め込み固定式のみ使用。(φ70mm以上)	アンカー下穴用　φ8.5コンクリートドリル刃 手すり固定下穴用　φ3.5 鉄工用ドリル刃	ダストポンプ ブラシ アンカーボルトの下穴の掃除に使用します。	モンキーレンチ スパナ アンカーボルトのナット締め付けに使用します。

製品仕様

品　名	サイズ	重量	材　質	
ポーチ用手すり600(アンカー固定式)	63.5×10×130cm	約5.0kg	支柱・固定プレート	ステンレス
			手すり部	オレフィン系エラストマー/アルミ
			固定座カバー 目隠しカバー	ASA樹脂 ※1
			オールアンカー	ステンレス
ポーチ用手すり600(埋め込み固定式)	63.5×3.4×130cm	約4.1kg	支柱	ステンレス
			手すり部	オレフィン系エラストマー/アルミ
			目隠しカバー	ASA樹脂
			オールアンカー	ステンレス
ポーチ用手すり1200(アンカー固定式)	123.4×10×130cm	約8.3kg	支柱・固定プレート	ステンレス
			手すり部	オレフィン系エラストマー/アルミ
			固定座カバー 目隠しカバー	ASA樹脂
			オールアンカー	ステンレス
ポーチ用手すり1200(埋め込み固定式)	123.4×3.4×130cm	約7.4kg	支柱	ステンレス
			手すり部	オレフィン系エラストマー/アルミ
			目隠しカバー	ASA樹脂
			オールアンカー	ステンレス

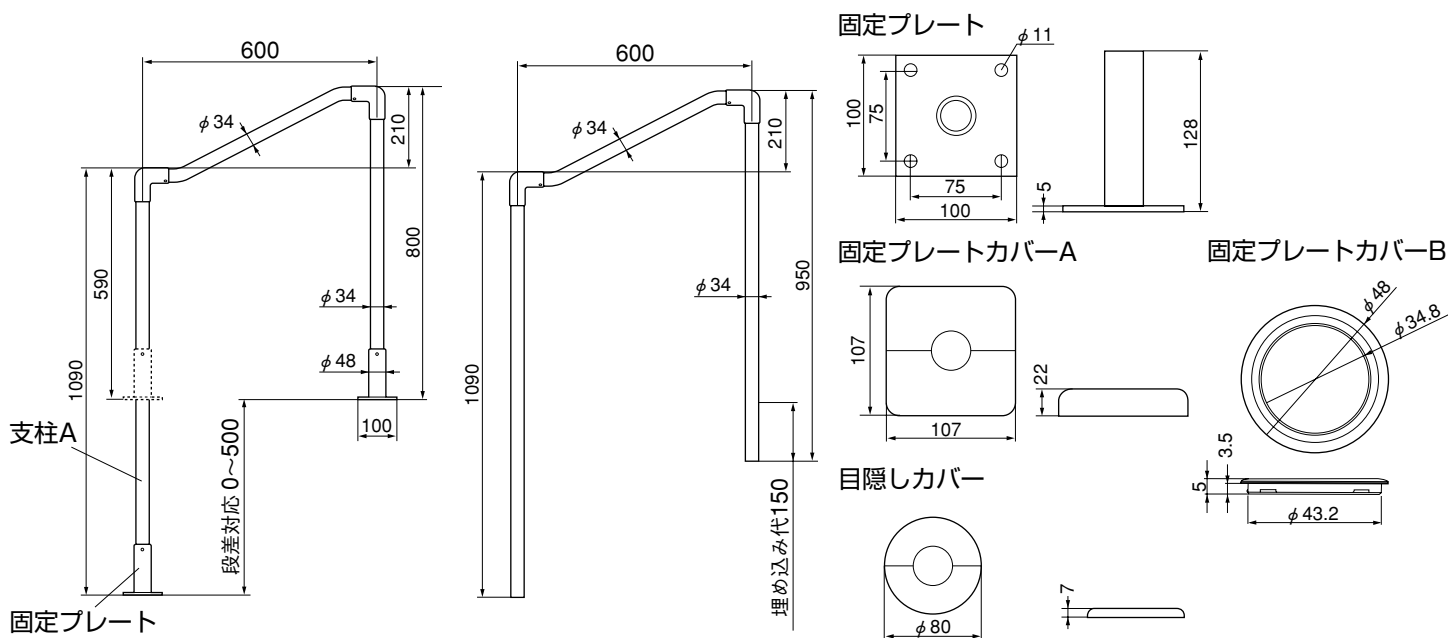
部材入数

品　名	部　品	入　数
ポーチ用手すり 600(アンカー固定式)	固定プレートカバーA	4 (2set)
	固定プレートカバーB	4 (2set)
	目隠しカバー	2 (1set)
	オールアンカー	8
	六角レンチ	1
	手すり固定ねじ	4
ポーチ用手すり 600(埋め込み固定式)	目隠しカバー	4 (2set)
	手すり固定ねじ	4
ポーチ用手すり1200(アンカー固定式)	固定プレートカバーA	6 (3set)
	固定プレートカバーB	6 (3set)
	目隠しカバー	2 (1set)
	オールアンカー	12
	六角レンチ	1
	手すり固定ねじ	6
ポーチ用手すり1200(埋め込み固定式)	目隠しカバー	6 (3set)
	手すり固定ねじ	6

※1 ASA樹脂 (アクリロニトリルスチレンアクリレート)
：ABS樹脂の特性に加え、弾性や耐候性を強化した高機能性スチレン樹脂

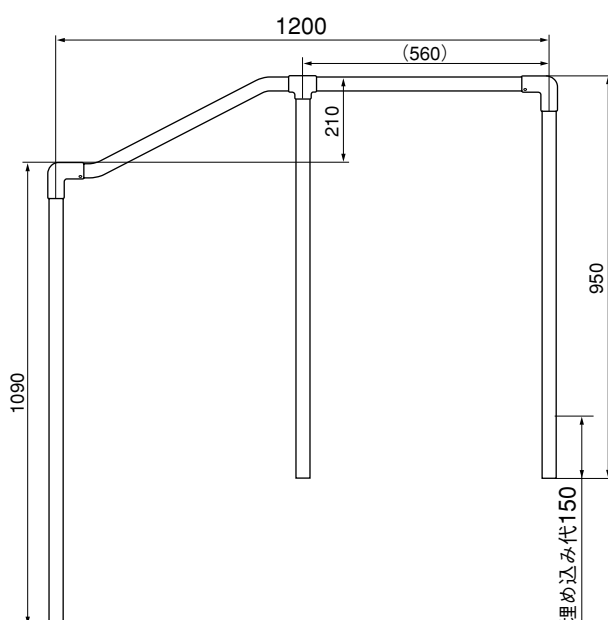
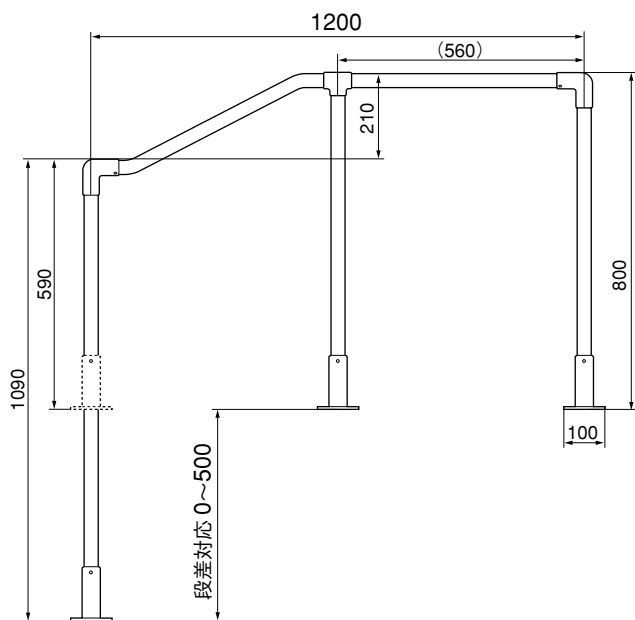
製品寸法

ポーチ用手すり600（アンカー固定式）ポーチ用手すり600（埋め込み固定式）

単位：mm

※施工現場に合わせて、固定プレートを外し、支柱Aを埋め込み固定することも可能です。

ポーチ用手すり1200（アンカー固定式）

1200
(560)
210
590
1090
800
100
段差対応 0～500

ポーチ用手すり1200（埋め込み固定式）

特長

●玄関のポーチ部に設置して外出時の段差の昇降を補助します。
●設置するポーチ部に合わせて、手すりの長さを選べます。
（例）手すり長さ600：ポーチ部が狭い引き戸　　手すり長さ1200：ポーチ部が広い開き戸
●設置する下地に合わせて、施工方法を選べます。
（例）アプローチ部 土：埋め込み固定方式　　アプローチ部 コンクリート：アンカー固定方式
●手すりのカット作業はなく、段差対応のために支柱をカットするだけで取り付けできるため、施工時間を短縮できます。
●手すり部は夏場に手すりを握っても熱くないエラストマー樹脂被覆仕様。耐候性にも優れた素材を使用しているため、長期間安心して使うことができます。

取り付け前に

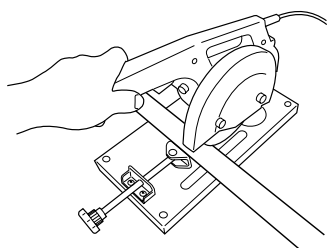
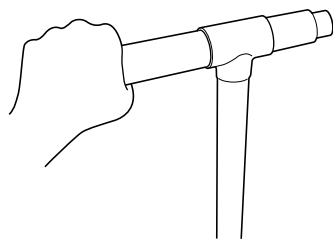
取り付け前の注意事項

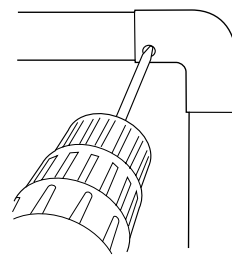
●手すりを取り付ける場所の地面が十分な強度を確保できることを確認すること
●手すりは水没する場所には取り付けないこと
●取り付け方法は、地面にアンカー固定する場合と埋め込み固定する場合がありますので、設置場所に応じて適切な方法を選ぶこと
●手すりの取り付けについては、「取り付けかた」（5ページ）を参考に取り付けること
●手すり支柱の表面に傷が入ると補修できませんので、取扱いには注意すること
●支柱の切断には、メタルソー・チップソー切断機を使用し、刃はステンレス用の良く切れるものを使用すること
●支柱のカット断面が真っすぐになるよう切断すること
●アンカー固定の場合、地面のコンクリート（モルタル）の厚さが70mm以上あることを確認すること
設置がしっかりと行なえず、手すりの強度が落ちて危険です。
●埋め込み固定の場合、支柱は必ず150mm以上の深さに埋め込むこと
設置がしっかりと行なえず、手すりの強度が落ちて危険です。

施工手順

①施工現場の状況により固定方法を選択してください。
②手すりを取り付ける取付面を測定・作図し、手すりの位置を決めます。
③支柱の長さを算出後、切断し、仮組み立てします。
④手すりの取付面に取付位置をスミ入れします。
⑤手すりをアンカー固定又は埋め込み固定します。
⑥手すり全体の曲り・傾き・ねじれがないことを確認して、手すりと支柱をねじ固定します。

組み立てかた

②の項目は1200タイプのみで実施

①段差の高さに合わせて支柱Aの長さをカットします。
対応段差0〜500mm
※埋め込み固定の場合は埋め込み代150mmを含めた長さで切断してください。

②支柱Cを手すりに通し支柱A・Bを両端部に差し込みます。

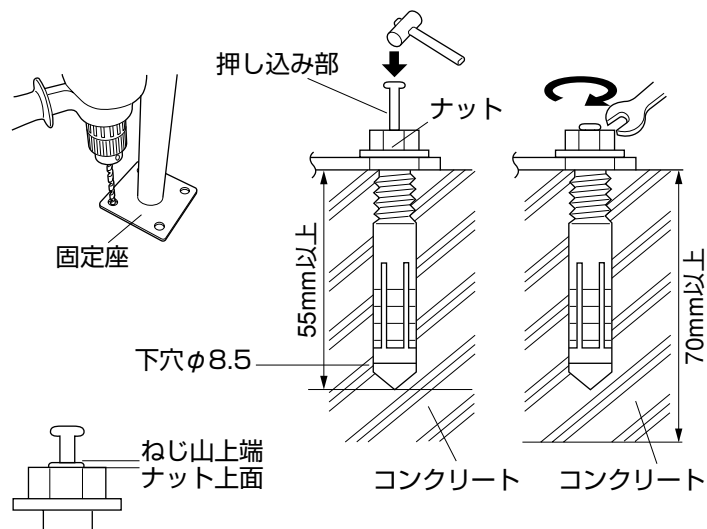
取り付けかたへ

③手すり取り付け完了後、手すりと支柱を付属のねじ（M4×16mm）で固定します。
※ねじ固定する前に必ず下穴（φ3.5mm）をあけてから固定してください。
※埋め込み固定の場合は、コンクリートが十分固ってからねじ固定してください。

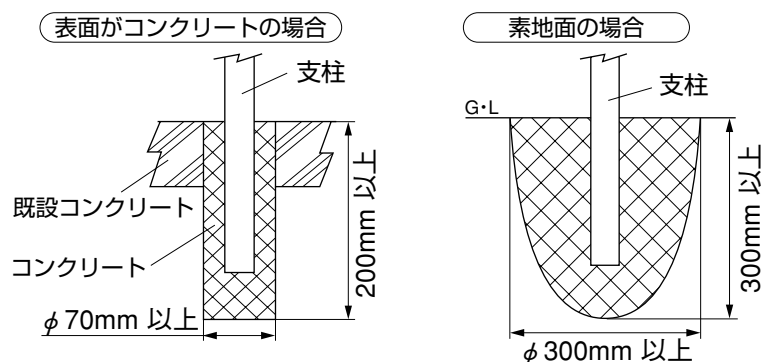
⚠ 注意

●手すり・支柱の表面に傷が入ると補修できませんので取扱いには注意すること
●支柱の切断にはメタルソー・チップソー切断機を使用し、刃はステンレス用のよく切れるものを使用すること
塗装の剥がれや切断面のバリ仕上げが困難になります。
●支柱のカット断面が真っすぐになるよう切断すること
斜めに切断すると固定できない場合があります。
●パイプの切断面を触らないこと
パイプ切断面で手や指にけがをする恐れがあります。

取り付けかた

アンカー固定の場合

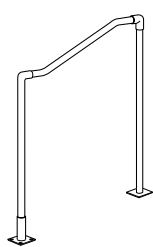
①設置したい場所にポーチ用手すりを仮置きし下穴の位置をマーキングします。
※仮置きした際に、手すりが垂直になっているか確認し、垂直にならない場合は、取り付け面と固定座の間に座金を敷き調節してください。
②コンクリートドリルを使用し、φ8.5mm、深さ55mmの下穴を4ケ所開けます。
※ポーチ用手すりを仮置きした状態で下穴を開けると穴位置のずれがなくアンカーボルトを差し込むことができます。
③下穴の中に溜っているゴミをダストポンプ又はブラシで取除き、アンカーボルトを差し込みます。アンカーの押し込み部の先端がボルトの先端に接するまで打ち込み、スパナでナットをしっかり締めつけて固定します。
※アンカーを差し込む前に、ナットの上面とアンカーねじ部の上端を合わせてください。

埋め込み固定の場合

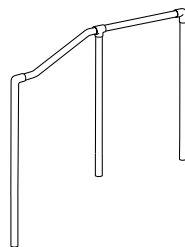
①設置したい場所に下穴位置をマーキングします。
②ホルソーを使用しマーキングした下穴位置に最低φ70mm、深さ200mm以上の穴を開けます。
素地面の場合φ300mm以上、深さ300mm以上の穴を開けます。
③支柱を穴に差し込みコンクリートを流し込みます。
支柱が垂直になっているか確認し、コンクリートが固まるまで添木等で支えます。
※コンクリートの養生期間は、使用するコンクリートの取扱説明書をよく読んでご使用ください。

アンカー固定式取り付け時の注意

●コンクリートにφ8.5mm深さ50mmの下穴を開けることのできるドリルを使用すること
指定のドリル刃以外を使用すると、アンカーボルトが差し込めなかったり、心振れをおこし確実な固定ができない場合があります。
●下穴は指定の深さ、大きさで開けること
穴が浅すぎると手すりの強度が落ちる可能性があり危険です。
●支柱が垂直になっているか必ず確認すること
手すりが正しく取り付かないことがあります。

埋め込み固定式取り付け時の注意

●ホルソーで開ける下穴の直径及び、深さは規定の寸法を守ること
手すりの強度が弱くなり、破損の原因となります。
●素地面は土の場合のみ施工可能です。砂地の場合、確実な固定ができないため施工しないこと
●支柱が垂直になっているか必ず確認すること
手すりが正しく取り付かないことがあります。

公的介護保険住宅改修対象商品
申請の際に切り取ってご使用ください。

ポーチ用手すり600（アンカー固定式）　メーカー希望小売価格 46,000円（税込 48,300円）
ポーチ用手すり600（埋め込み固定式）　メーカー希望小売価格 36,000円（税込 37,800円）
アロン化成株式会社

公的介護保険住宅改修対象商品
申請の際に切り取ってご使用ください。

ポーチ用手すり1200（アンカー固定式）　メーカー希望小売価格 62,000円（税込 65,100円）
ポーチ用手すり1200（埋め込み固定式）　メーカー希望小売価格 48,000円（税込 50,400円）
アロン化成株式会社

●製品改良のため、仕様、外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

お客様ご相談窓口 フリーダイヤル 0120-86-7735
製品に関するご意見・お問い合わせは （受付時間）祝祭日以外の月～金 9:00～17:00

アロン化成株式会社
ライフ・サポート事業部
〒141-0022 東京都品川区東五反田1-22-1 五反田ANビル4階 TEL（03）5420-1556
FAX（03）5420-7750

東京営業グループ ☎(03)5420-1562
大阪支店 ☎(06)6448-5127
名古屋支店 ☎(052)203-0396
福岡支店 ☎(092)741-1411
仙台支店 ☎(022)291-5477
広島支店 ☎(082)245-7100
札幌営業所 ☎(011)709-6011

ポーチ用手すり取扱説明書（お客様用）

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

してはいけない「禁止」内容を説明しています。

⚠ 警告

手すり以外の用途（ぶらさがったり、上に登ったりなど）に使わないこと
故意に衝撃を加えないこと
すべったり、外れたりしてけがをする恐れがあります。

⚠ 注意

施工店以外の方が分解・修理・改造は行わないこと
本品が正常にはたらかず、けがの原因となります。

定期的に手すりのガタツキがないか確認すること
手すりが外れたりしてけがをする恐れがあります。

お手入れの方法

●中性洗剤のうすめ液をスポンジかやわらかい布にふくませ、汚れを取ったあと、乾いた布で空ぶきしてください。

⚠ 注意

※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
※必ず中性洗剤をご使用ください。アルカリ洗剤・酸性洗剤・塩素系洗剤・シンナー・クレゾール等は絶対に使用しないこと
プラスチック・金属が劣化または破損し、けがの原因となることがあります。
定期的に手すりのガタツキがないか確認すること
手すりが外れたりしてけがをする恐れがあります。

●ガタツキがある場合は、商品を購入された販売店、又は施工店へご相談ください。